2026 年度第 1 回出版委員会議事次第

日時：2026 年 6 月 20 日（土）午前 10 時 00 分から
出席委員： 飯野、永井、古寺、茶谷、冨樫、山城、山下、中村、久保
オブザーバー：藤原、秋山、小島、晝馬、柳澤

報告事項：

1. 会誌編集委員会報告（山下）：出 1

2. Biophysics and Physicobiology 編集委員会報告（中村）：出 2

3.ウェブサイト編集委員会報告（久保）：出 3

審議事項：

4. 第 15 回 BPPB 論文賞 授賞論文の承認について（中村）：出 4

その他

報告事項：

1. 会誌編集委員会報告（山下）

- 会誌の発刊状況、今後の掲載予定、新企画・特集企画の進捗について報告があった。
- 「生物物理」の J-STAGE 公開時期について、閲覧性・検索性の向上と学会 PDF 版の広告収入等を踏まえて意見交換を行い、継続して検討することとなった。

2. Biophysics and Physicobiology 編集委員会報告（中村）

- BPPB の発刊状況、特集号、AI を活用した査読・編集支援の検討、科研費による取り組み、Editorial Choice Awards について報告があった。
- AI 活用に関する投稿者への説明をより明確にすることとなった。

3. ウェブサイト編集委員会報告（久保）

- 学会ウェブサイトの更新状況、「生物物理のテーマ」の記事更新、SNS の利用状況、予算について報告があった。
- 「生物物理のテーマ」の執筆者について、分野別専門委員が推薦する会員まで対象を広げることが了承された。

- トップページに掲載している過去の声明を含むウェブサイト上の情報の整理について意見交換を行い、今後、会長・副会長を中心に検討することとなった。

審議事項：

4. 第 15 回 BPPB 論文賞受賞論文の承認（中村）

- 候補論文の審査結果および受賞理由について説明があり、受賞論文が承認された。

その他

- 追加議題はなく、出版委員会を終了した。

2026 年度第 1 回男女共同参画・若手支援委員会議事次第

日時：2026 年 6 月 20 日（土）午前 11 時 00 分から
出席： 藤原、永井、秋山、小島、晝馬、柳澤
オブザーバー：飯野、古寺、茶谷、冨樫、山城、山下、中村、久保

審議および報告事項

1．2026 年度年会にむけて
1）若手奨励賞関係報告（柳澤・藤原）
2）男女若手シンポジウム（小島）
3）キャリア支援説明会（藤原、喜多）：男女 1-3

2．女子中高生夏の学校準備状況報告（柳澤）：男女 2

3. 男女共同参画学協会連絡会 大規模アンケート（小島）

その他

審議および報告事項

1. 2026 年度年会にむけて

1）若手奨励賞関係報告（藤原）

- 若手奨励賞は 29 件の応募があった。担当理事の利益相反による関与制限のあり方、現在の研究分野カテゴリーと最近の発表分野との適合性、過去の受賞者の再応募・再受賞の扱いについて、今後検討することとした。

2）男女若手シンポジウム（小島）

- 2026 年度年会で予定している企画シンポジウムについて、登壇者および開催日程の調整状況が報告された。

3）キャリア支援説明会（藤原）

- 年会でのキャリア支援企画について、開催日程、ブース運営、また海外参加者を含む幅広い参加者に対応したキャリア支援の内容について意見交換を行った。

2. 女子中高生夏の学校準備状況報告(柳澤)

- 若手の会と連携した参加体制、展示準備、旅費・宿泊費、ノベルティ等の準備状況について報

告があった。

3. 男女共同参画学協会連絡会　大規模アンケート（小島）

- 男女共同参画学協会連絡会が実施予定の大規模アンケートについて説明があり、学会としての回答に向けて意見を集約することとなった。

その他

若手奨励賞の審査分野・応募条件について、飯野氏より提案があり、意見交換がなされた。

- 若手奨励賞の研究分野分類について、近年の研究分野の広がりや応募状況を踏まえ、今後見直しを検討することとなった。
- 過去の応募状況等を整理した上で、継続して検討する。

2026 年度第 1 回（一社）日本生物物理学会理事会議事次第
日時：2026 年 6 月 20 日（土）14:00〜
場所：大阪大学（オンライン開催）

出席者: 理事総数 20 名 出席理事 17 名 （代表理事を含む）

代表理事（会長）	永井 健治	理事（副会長）	藤原 郁子
理事（副会長）	飯野 亮太	理事	秋山 修志
理事	阿部 一啓	理事	喜多 俊介
理事	小柴 琢己	理事	小島 慧一
理事	古寺 哲幸	理事	茶谷 絵理
理事	冨樫 祐一	理事	林 重彦
理事	晝馬 亨	理事	森本 雄祐
理事	矢木 真穂	理事	柳澤 実穂
理事	山城 佐和子		

監事: 監事総数 2 名 出席監事 1 名

監事	佐甲 靖志

オブザーバー:

邦文誌編集委員長	山下 敦子
ウェブサイト編集委員長	久保 稔
2026 年度年会委員	髙橋 聡
選挙管理委員長	小松崎 民樹
中部支部	小嶋 誠司
中国・四国支部長	松浦 宏治

陪席者:

学会事務局	末吉 建太

議長：代表理事（会長） 永井 健治
議事録作成者: 古寺 哲幸

報告事項：
1. 定時社員総会の報告（永井）
2. 2027・28 年度会長候補者意向聴取選挙・代議員選挙結果報告（小松崎）：報 2（当日のみ）
3. 地区報告

北海道支部（代理；永井）：報 3-1
中部支部（代理：小嶋）：報 3-2
関西支部（冨樫）
中国・四国地区（松浦）：報 3-4
4. 2026 年度年会準備状況（高橋）：報 4
（ICBBS2026 での諸会議の有無等について）
5. 2027 年度年会準備状況（森本）：報 5
6. 国際関連委員会報告（藤原・山城・矢木）：報 6
7. 会員除籍と会員数の報告（冨樫）：報 7
8. 賞・助成金推薦委員会報告（藤原）：報 8
9. グッズ配布について（小柴）：報 9
その他

審議事項：
1. 確定申告書類 消費税額について（永井）：議 1
2. 次回年会以降の若手奨励賞進行について（藤原）
3. 国際研究会・国際会議開催支援（グローバル経費）について（藤原）：議 3
4. 功労会員のご逝去について（永井）
5. 分野別専門委員会制度について（飯野）
その他

定足数の確認：
理事会の審議に先立ち、議長・高橋 聡氏より定足数の報告があった。
理事総数 20 うち、出席者 16 により過半数を超えた。

報告事項：
1. 定時社員総会の報告（永井）
- 定時社員総会が終了した旨の報告がなされた。

2. 2027・2028 年度会長候補者意向聴取選挙・代議員選挙結果の報告（小松崎）
- 会長候補者意向聴取選挙および代議員選挙の実施経過と結果について報告された。
- 投票システム変更に伴う大きなトラブルは確認されなかった。

3. 地区報告
●北海道支部（代理：永井）
- 収支・決算および支部活動について報告された。

●中部支部（代理：小嶋）

- 支部総会、会計、表彰、銀行口座の変更および次年度支部総会について報告された。
- 次年度支部総会に係る支部費の申請について確認された。

●関西支部（冨樫）

- 会計状況、銀行口座開設および次年度支部総会の準備状況について報告された。

●中国四国支部（松浦）

- 会計・監査、支部大会、次期支部長、次年度支部大会、若手支援等について報告された。

4. 2026 年度年会準備状況（代理：高橋）

- 演題登録、Student Bursary、企業協賛、予算、会場・プログラム等の準備状況について報告された。
- ポスター会場と企業展示の配置、企業展示期間、各種企画の日程等について意見交換を行い、実行委員会で引き続き調整することとなった。
- 会員総会シンポジウムおよび分野別専門委員会は年会中には開催しないこととなった。
- キャリア支援説明会と男女共同参画・若手支援委員会企画について、聴衆の重複を避けるよう日程を調整する。
- 年会時期の理事会は別日にオンラインで開催する方向となった。
- BPPB 論文賞の受賞講演・表彰、および若手奨励賞等の表彰方法について、実行委員会と調整を進めることとなった。

5. 2027 年度年会準備状況（森本）

- 企業協賛募集、展示・ポスター会場の配置、ランチョンセミナー等の準備状況について報告された。

6. 国際関連委員会報告（山城）

- IUPAB Congress への講演候補者推薦、韓国年会の学生旅費支援、ABA ミニシンポジウム等について報告された。

7. 会員除籍と会員数の報告（冨樫）

- 会費滞納者の除籍処理、学生会員の更新状況および会員数の推移について報告された。

8. 賞・助成金推薦委員会報告（藤原）

- 各種賞への学会推薦状況について報告され、今後の推薦候補者を継続的に把握する仕組みを整備することとなった。

9. グッズ配布について（小柴）

- 学会グッズの配布状況が報告され、今後の適正在庫、保管方法、配布・廃棄等について検討を進めることとなった。

審議事項：

1. 確定申告書類 消費税額について（永井）

- 消費税額の把握時期と年会決算資料の提出時期、今後の予算編成および事業の効果検証について意見交換を行い、継続審議とした。

2. 次回年会以降の若手奨励賞進行について（藤原）

- 担当理事と応募者との利益相反への対応について意見交換を行い、選考手続き・規定の見直しを含め継続して検討することとなった。

3. 国際研究会・国際会議開催支援（グローバル経費）について（藤原）

- 東アジア一分子生物物理学シンポジウムへの開催支援について審議し、90 万円を支援することが承認された。余剰が生じた場合は返金を求めることとした。

4. 功労会員のご逝去について（永井）

- 功労会員が逝去した場合、名誉会員と同様に会員へ周知することが承認された。

5. 分野別専門委員会制度について（飯野）

- 分野別専門委員会の役割、活用方法およびウェブサイト掲載記事の更新等について意見交換を行い、継続して検討することとなった。

連絡事項：

1. 次回理事会日程について（永井）
   2026 年度第 2 回理事会
   日時：2026 年 9 月か 10 月
   場所：（TV 会議）

2026 年度第 2 回男女若手委員会・2026 年度第 2 回出版委員会も同日開催。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 17:30 に閉会を宣言して散会した。
上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

2026 年 6 月 20 日

一般社団法人 日本生物物理学会 2026 年度第 1 回理事会

代表理事　　永 井　健 治　（印）

監事　　佐 甲　靖 志　（印）